



# こども110番だより

令和5年7月20日発行 第40号  
白井市小中学校PTA連絡協議会こども110番運営委員会

## ～こどもたちの安全のために、地域でできることを～

白井市小中学校PTA連絡協議会  
会長 阪野 雄

7月にはいり急に夏らしく暑さも本格的になって参りました。皆様いかがお過ごしでしょうか。平素はこども110番事業の推進にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

今年度よりこども110番会議は、これまで同日開催されていた長期休業対策研修会の要素を一本化し、通学路点検から見守り・パトロールまで、こどもたちの安心・安全に関する取組みを統合的に考える場として新たに生まれ変わりました。各校の取組内容の共有や、活動内容情報共有の良い機会となりました先日開催の会議の内容に関し、ご報告いたします。

## ■令和5年度通学路危険箇所改善の要望書を市長に提出



来賓として出席いただいた笠井喜久雄市長より、2期目の任期にあたり、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりに今後も注力していただけることが表明され、続いて市P連会長より、会員の皆様が見守りやパトロールなどを通じて提案頂いた内容を取りまとめた危険箇所改善の要望書を、市長に提出いたしました。

### (本年度の各中学校区 改善要望提出件数)

白井中学校区26箇所、大山口中学校区25箇所、七次台中学校区13箇所、  
南山中学校区11箇所、桜台中学校区6箇所の合計81箇所（前年比+18箇所）。

## ■こども110番の生い立ちについて

昨年度のこども110番会議では、コロナ禍による中断を経て3年ぶりの開催であることを踏まえ、白井市におけるこども110番事業の立ち上げに尽力された、川上利一様（現：白井市環境課課長）に登壇頂き、立ち上げに至る経緯や当時苦労された点などを、あらためて教示頂きました。

今年度においてもこれを踏まえ、各校のPTA役員が毎年入れ替わる中であっても発足時に携われた方々の思いをしっかりと継承し語り継ぐ必要があるとの考えから、こども110番の生い立ちや110番ファイルの利用方法について、清水口小学校PTA中野七生会長より説明を行いました。

「こども110番」の目的は、子どもたちが犯罪に巻き込まれそうになった時、また急病やケガ等で困った時、避難、協力を求めることができる場所を住民、事業者等が協力して確保するとともに市全体でこどもたちの安全確保のため取り組んでいることを公に示すことにより犯罪の抑止を図ろうとするものですが、白井市においては、日本で初めてPTAが主体となって発足させたこども110番であることが特筆されます。

多くの自治体では行政がこども110番事業を手掛けていますが、原点である「私たちの子どもは私たちPTAで守ろうという想い」を白井の誇りとして、出席者一同が今一度共有しました。

## ■白井市における通学路安全の取組みについて

PTAにおいては、通学路安全のための取組みとして、日々のパトロールをもとに前述のような危険箇所改善要望書の取りまとめ等を行っていますが、これに対し、市において通学路安全についてどのような取組みを行っていただいているのかに関し、白井市役所学校政策課の鳥海孝一郎様に登壇いただき、体系的な説明を行っていただきました。



▼児童・生徒の交通安全対策としては、ハード・ソフトの2種類がある。

**ハード対策** …… 通学路の安全確保、ドライバーへの安全運転の啓発。

**ソフト対策** …… 子どもたちが自分で身を守る意識の醸成。地域との連携による安全確保。

▼通学路の安全対策として、「白井市通学路交通安全プログラム」が平成26年7月に策定。

警察（印西警察署交通課）、市（学校政策課、道路課、市民活動支援課）、県（印旛土木事務所）、PTA（市P連）を構成員とした白井市通学路安全推進協議会を設置して、安全確保のためのPDCAサイクルを回している。

・ **P l a n** 市P連から市に点検箇所の要望を提出。

・ **D o** 協議会と学校職員で合同点検を実施。（今年度は7月21・24日に行います）。各機関は対策の検討と実施（対策実施期間は7月～1月）を行い事務局へ報告。

⇒「信号機、横断歩道の設置」「道路拡幅、歩道整備」等は円滑な車両交通確保の観点や用地確保の要素があり、なかなかすぐには実現しないが、「道路標識、停止線」「速度制限、スクールゾーン」「路面標示、注意喚起の看板・電柱幕」「取り締まり、安全指導」など、講じうる様々な方法を検討し対策を実施。

・ **C h e c k** 事務局は実施状況を協議会へ報告し、情報を共有。（協議会開催は2月）

・ **A c t i o n** 協議会は対策内容の改善充実を図り、来年度の合同点検方針を協議。

⇒令和4年度の通学路要望への評価としては、62箇所74件の対策要望が寄せられたのに対し  
○（達成）29件、△（対策可能）10件、×（未達成）18件が未達成、（評価なし）17件。

## ■地区巡回指導、市内パトロールについて

巡回のポイントと対応窓口について市P連阪野雄会長から、パトロールにおける要望取りまとめについて市P連近藤和弘副会長から説明を行いました。

### ◇◇◇各小学校区の取組みを共有◇◇◇

【第一小】夏休み前のパトロール「夏休み親子パトロール」実施。危険個所の「親子で点検フォーム」を作成。

【第二小】昨年度からスクールバス試験運行中。4・9・1月に乗り場までの見守りを実施。

【第三小】新1年生への「いかのおすし」のパンフレット配付。夏季パトロールの募集や報告はgoogleフォームを活用し、会員と情報共有している。

【大山口小】まちづくり協議会と協力し小学校区の危険個所を纏めた「安心・安全マップ」をカー版で作成・発行。小学校内に加え、近隣の保育園・幼稚園にも合わせて配布。

【七次台小】地域の交通安全ボランティアの方と協力し通学路の横断旗振りや、散歩中のながら見守り実施。

【清水口小】パトロールシートを作成し会員へ配付。外出時に身に付けて、ながら見守りで防犯活動実施。

【南山小】親子イベント「一緒に帰ろう」開催。1・2年とその保護者を対象に、千葉県警より講師を招き防犯講座実施。公演中に保護者は地区別懇談会で通学路危険個所情報の共有を実施。

【池の上小】パトロール札を新規に作成し全保護者に配付。付けて歩くことでながら見守りを実施。

【桜台小】マチコミ活用し下校時見守りパトロール要員募集。実施後にアンケートで情報収集。